

授業科目 助産診断・技術学Ⅱ

【担当教員名】 中山和美	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

- 1 周産期の異常に関する診断と検査・治療について学ぶ。
- 2 産褥期の助産診断と助産技術について学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- 1 周産期の異常に関する診断と検査・治療について説明できる。
- 2 産褥期の保健指導を計画立案、実施できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	妊娠期の異常に関する診断と治療	1	講義（医師）
2	分娩期の異常に関する診断と治療	1	講義（医師）
3	産褥期の異常に関する診断と治療	1	講義（医師）
4	母体と胎児の経過診断に必要な検査	1	講義（医師）
5	産科手術および産科的医療処置	1	講義（医師）
6	周産期における緊急時の対応	1	講義（医師）
7	正常経過を逸脱した新生児・治療を必要とする新生児の診断および検査と治療	1	講義（医師）
8	未熟児・低出生体重児の特徴および病態、検査と治療	1	講義（医師）
9	乳幼児の健康診査に必要な技術	2	講義（医師）
10	ハイリスク乳幼児の検査と治療	2	講義（医師）
11	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（1）	2	グループワーク（助産学教員）
12	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（2）	2	グループワーク（助産学教員）
13	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（3）	2	グループワーク（助産学教員）
14	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（4）	2	グループワーク・発表
15	試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	助産学体系 第3版			
	4 産褥・新生児・乳幼児の生理と病態	青木康子他編	日本看護協会出版会	2002 (3200円＋税)
	8 助産診断・技術学Ⅱ	青木康子他編	日本看護協会出版会	2002 (3400円＋税)
	9 助産診断・技術学Ⅲ	青木康子他編	日本看護協会出版会	2002 (3400円＋税)
	10 助産診断・技術学Ⅳ	青木康子他編	日本看護協会出版会	2002 (3400円＋税)
その他の資料	改訂第21版 最新産科学 正常編	荒木勤著	文光堂	2001 (5000円＋税)
	改訂第20版 最新産科学 異常編	荒木勤著	文光堂	2002 (7000円＋税)
	必要に応じて提示します。			

【評価方法】 出席 10 グループワークへの参加度 30 試験 60	【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習してください。
---	------------------------------------

看護学科 専門